# 国際ボランティアと地域理解 II

科目ナンバリング　INR-306
選択　　2単位

西向　堅香子

1. 授業の概要（ねらい）

自然災害や貧困、経済・社会問題など、私たちは国内外ので様々な地球規模課題に直面している。これらの問題を解決すべく、国や国際機関のみならず、世界中で企業や自治体、NGO、個人など多様なアクターが活動を活発化させ、ボランティア活動も急速に広がっている。グローバル化が人の国際移動を促進する中、国内外で国際ボランティアは活躍している。本授業では、教育を軸に私たちが抱えている課題とそれに対する取り組みについて、またその地域の文化や社会の理解の重要性を学んでいく。机上の授業を越え、ボランティア活動実践へ踏み出すことを目指す。

2. 授業の到達目標

（1）私たちが抱えている課題と文化や社会を構成する価値観の多様性を理解する。
（2）国内外の課題解決に取り組む様々なアクターを理解する。
（3）知識だけでなく、ボランティア活動は自分でも身近にできるという事を理解する。→ 一歩踏み出し行動する！
（4）ディスカッションや個人発表を通して、ボランティア活動に必要な課題発見力とコミュニケーション力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

出席と積極的な授業参加：30%、個人発表：30%、定期試験：40%

4. 教科書・参考文献

教科書
適宜授業内に配布、もしくはLMSからダウンロードする。

5. 準備学修の内容

この授業では教育を軸に様々な国や地域の社会・経済・政治的課題や取組を見ていく。参考文献やニュースや新聞などを利用し、国内外で起きている現状の理解を心掛けましょう。発表や定期試験には事前に存分の準備が求められる。

6. その他履修上の注意事項

身近にできる国際協力や自分の関心にあったボランティア活動に踏み出してもらいたい。真面目に履修する学生のみの受講とする。遅刻は厳禁とし、授業時の私語やスマートフォンを操作する学生の出席は認めない。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス（授業の概要と目的及び進め方、成績評価の方法）
【第2回】　教育と社会
【第3回】　教育と社会
【第4回】　教育と社会
【第5回】　教育と社会
【第6回】　教育と社会
【第7回】　教育と社会
【第8回】　映像から考える教育課題
【第9回】　映像から考える教育課題
【第10回】　学生の発表
【第11回】　学生の発表
【第12回】　学生の発表
【第13回】　学生の発表
【第14回】　学生の発表
【第15回】　これまでのまとめ（レポートの提出）